

令和7年度 入札監視委員会議事概要

九州防衛局

開催日及び場所	令和7年12月25日（木） 熊本防衛支局 庁舎2階 大会議室
委員	牧角 龍憲（大学名誉教授） 松藤 泰典（大学名誉教授） 諏佐 マリ（大学准教授） 柴田 祐二（公認会計士） 本岡 大祐（弁護士）

I 地方防衛局等が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	令和7年7月1日 ～ 令和7年9月30日		
審議対象件数	146件		
1. 入札状況について（入札参加資格の設定及び落札者決定の経緯等について）			
抽出件数	3件	（審議概要） 1 建設工事等発注実績について 2 指名停止の措置状況について 3 談合疑義案件情報について 4 低入札価格調査情報について 5 抽出事案について	
建設工事	一般競争 （基準額以上）		0件
	一般競争 （基準額未満）		1件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	2件		
	意見・質問	回答	
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等	【建設工事等発注実績について】 特に意見なし 【指名停止の措置状況について】 ・ 指名停止の期間については、他省庁と同様の措置となるのか。 【談合疑義案件情報について】 該当案件なし 【低入札価格調査情報について】 特に意見なし	・ 国土交通省と同様の措置としている。	

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<p>【抽出事案について】</p> <p>1 [えびの（7）宿舎改修機械工事]（一般競争入札（基準額未満））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1者応札となった理由を説明していただきたい。 ・ 4回目の入札を行った理由を説明していただきたい。 ・ 入札説明書に「入札回数は、原則として2回を限度とする。ただし、2回目の入札において落札者がいない場合は、3回目の入札を執行する場合もある。」という記載があるが、今回のような事情を鑑みて、具体的にどのような状況において3回目以降の入札を行うかのように記載するなど、入札説明書の記載を工夫した方が良いのではないか。 <p>2 [北熊本外（7）隊舎新設等総合設計]（公募型プロポーザル方式）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格が高くなっているが、業務内容を説明していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設業界が抱えている慢性的な技術者不足の中、本工事においても配置技術者や作業員の確保が難しかったことが、1者応札となった理由であると推測している。 ・ 部隊の宿舎整備計画に遅れが生じる恐れがあることに加え、再公告した場合、慢性的な人手不足により入札参加者が集まらない懸念があったことから、補足説明を行いながら4回目の入札を行ったものである。 ・ ご助言を踏まえ、今後検討していきたい。 ・ 本業務は、離島を含めた複数の基地駐屯地等（7地区）及び複数の新設建物等（6棟）について、本省から指定された最適化事業における建築・機械・電気・通信・土木の総合設計業務（基本検討及び実施設計）を行うものである。最適化事業の対象基地等に離島が含まれており、現地調査及び設計会議の交通費を計上しているこ

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の基地駐屯地等を抱き合わせて、更に複数の業種の設計をまとめて「総合設計」として発注することの是非について説明していただきたい。 ・ 評価点の内訳を見ると、「特定テーマに対する技術提案」の項目について受注者となった設計会社の得点が高くなっているが、基本検討業務に慣れているからこその高い得点だったのか。 ・ 非常に制約が大きいスケジュールの中で発注しなければいけない事情は理解できるので、特定の会社のみ参加可能といったことにならないよう、発注ロットや参加資格要件の設定を工夫していただきたい。 <p>3 [北熊本（7）宿舎PFI導入可能性調査]（一般競争入札（基準額未満））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務の概要について説明していただきたい。 	<p>とから、予定価格が高くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務には基本検討業務（財務省に対する予算要求のための基礎資料作成など）が含まれているが、このような基本検討業務に慣れている設計会社が少なく、基地駐屯地毎に分割して発注すると入札が成立しない可能性が高く、最適化事業の計画に支障をきたすことから、まとめて「総合設計」として発注したものである。 また、離島に所在する基地駐屯地における業務の入札不成立対策も兼ねている。 ・ 当技術提案において評価した結果、発注者の求める内容に合致した提案がなされており、高い評価となっているもの。 ・ 承知した。 ・ 本業務は、陸上自衛隊北熊本駐屯地の宿舎整備事業に当たり、PFI手法を導入する場合の総合評価及び課題の整理等を行うために調査及び検討を実施するものである。 防衛省におけるPFI事業に当たっては、自衛隊の任務等の特性

	意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北熊本駐屯地の宿舎がP F I事業の対象となるのか。 ・ 防衛省において同様のP F I事業は行われているのか。 ・ 評価点の内訳を確認すると、落札者の「配置予定技術者の経験及び能力」の得点が高くなっているが、理由を説明していただきたい。 ・ 「価格評価点」とはどのように算出するのか。 	<p>を踏まえて、公務員宿舎、広報施設及び厚生施設を対象とするものが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、北熊本駐屯地の宿舎を対象に導入可能性調査を実施しているところで、実際にP F I事業を行うことでコスト縮減等ができるのかを検討するものであり、実際にP F I事業の導入が決定したのではない。 ・ 福岡駐屯地の宿舎のほか、全国の老朽化が著しい公務員宿舎において、同様にP F I事業の導入可能性調査を発注しているところである。 ・ 配置予定となっている技術者の履行実績において、業務成績が高いものであったためである。 ・ 本業務は標準型（1：2）の総合評価方式となるため、以下の計算式によって算出している。 $\text{価格評価点} = 30 \text{点} \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	
<p>備考</p>	<p>委員会の開催に先立ち、健軍駐屯地における施設最適化事業の対象となる建物の現状を視察した。</p>	

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0件	(審議概要) なし
工事	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
業務	談合情報	0件	
	点検結果疑義	0件	
		意見・質問	
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	
3. 入札結果の事後的・分析結果について（公正入札調査会議への報告内容の確認等）			
審議概要		<ul style="list-style-type: none"> ・契約件数と落札率、応札率の分析 ・契約件数と一位不動・順位不動の分析 ・低入札、不調、不成立事案の分析 	
		意見・質問	回 答
○ 委員からの意見・質問 ○ それに対する回答等		なし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし	